

## 新学習指導要領の円滑な実施に向けた支援策

平成21年度予算額 20,948百万円  
 (平成20年度予算額 10,267百万円)

### (1) 指導体制整備 5,795百万円 (2,898百万円)

退職教員等外部人材活用事業 - サポート先生の配置 -

教員が子ども一人一人に向き合う環境をつくるとともに、新学習指導要領の先行実施における理数教科の授業時数の増に対応するため、退職教員や経験豊かな社会人等の配置を14,000人(週12時間換算)に拡充(1/3 国庫補助)

### (2) 教材整備事業 2,000百万円 (1,320百万円)

理科教育等設備整備費補助 2,000百万円 (1,320百万円)  
 新学習指導要領の円滑な実施のための教材整備緊急3ヵ年計画(平成21~23年度)  
 (予算額(案)とは別途、平成21年度分として816億円、3年間の計画総額として約2,459億円の地方交付税措置)

### (3) 道徳教育の充実 1,336百万円 (658百万円)

道徳教育用教材活用支援事業 800百万円【新規】  
 ・道徳教育用教材(読み物資料)に対する新たな財政支援を試行  
 道徳教育実践研究事業等 226百万円 (258百万円)  
 ・道徳教育の指導内容や指導方法、指導体制等に関する調査研究を実施  
 「心のノート」活用推進事業 310百万円 (400百万円)  
 ・新学習指導要領の趣旨を踏まえ改訂した「心のノート」を引き続き印刷・配布

### (4) 体験活動の充実 1,050百万円 (972百万円)

農村漁村におけるふるさと生活体験推進校 1,050百万円 (972百万円)

### (5) 算数・数学、理科教育の充実 6,340百万円 (4,483百万円)(再掲含)

移行期間中の補助教材の作成・配布 1,311百万円【新規】  
 ・移行期間中に指導内容が追加される算数・数学、理科について  
 教科書に準拠した補助教材を作成・配布  
 (平成20年度補正予算(1次)に1,317百万円を別途計上)  
 理数教育の支援 3,029百万円 (3,163百万円) 運営費交付金中の推計額  
 ・理科支援員や理数系教員対象の研修に対する支援等の活用  
 理科教育等設備整備費補助(再掲) 2,000百万円 (1,320百万円)

<b>(6) 外国語教育の充実</b>	<b>900百万円【新規】</b>
小学校の外国語活動の導入に向けた条件整備 ・英語ノート、音声教材、教師用指導資料の印刷・複製・配布 ・教材の効果的活用及び評価に関する実践研究 等 英語教育改善のための総合的な教育システムの構築 ・英語教育改善のための調査研究（研究開発学校）	410百万円【新規】 443百万円【新規】 等

平成20年度予算額には前年度限りの経費を含む

<b>(7) 中学校武道の必修化に向けた条件整備</b>	<b>4,951百万円（ 641百万円）</b>
中学校における武道の必修化の完全実施(H24)に向け、必要な条件を整備 安全・安心な学校づくり交付金(公立中学校武道場整備分) 4,026百万円【新規】 （中学武道場新築：補助率 1 / 2） 私立学校体育等諸施設整備費補助 （中学武道場新築（補助率 1 / 2）を含む） 中学校武道必修化に向けた地域連携指導実践校 地域スポーツの人材の活用実践支援事業 地方交付税交付金において、武道用具等の購入に要する経費を措置（再掲）	73百万円(73百万円) 494百万円【新規】 358百万円(515百万円)

<b>(8) 情報モラル教育の推進</b>	<b>70百万円【新規】</b>
学校における情報モラル等教育の推進	70百万円【新規】

<b>(9) 環境教育の充実</b>	<b>85百万円（ 55百万円）</b>
環境教育に関する調査研究等	85百万円（ 55百万円）

<b>(10) 安全教育・食育の推進</b>	<b>68百万円【新規】</b>
安全教育・食育の推進	68百万円【新規】

<b>(11) その他</b>	<b>353百万円（ 613百万円）</b>
学力向上支援事業 新学習指導要領の周知 ・高等学校の新学習指導要領の解説の作成、説明会の開催等 ・特別支援教育指導資料の作成、説明会の開催	121百万円（ 215百万円） 232百万円（ 398百万円）

## 平成21年度用理数補助教材の作成・配布について

### 1. 目的

平成21年4月からの新学習指導要領の移行期間中に、算数・数学、理科については内容の一部を先行して実施する。現在児童生徒が用いている教科書には、これらの先行実施の内容が含まれていないため、移行期間中の児童生徒の学習に支障が生じないように、教科書に準拠した補助教材を作成し児童生徒等に配布する。

### 2. 作成方法

現在、算数・数学、理科の教科書を発行している教科書発行者に、自社の教科書に準拠した補助教材の作成を委託。教材の内容については、文部科学省において、新学習指導要領に沿った適切なものであるか等の観点から確認。

### 3. 作成教科・学年

- ・ 小学校算数：小学校第1～6学年
- ・ 小学校理科：小学校第3～6学年
- ・ 中学校数学：中学校第1学年
- ・ 中学校理科：中学校第1・3学年

(参考：補助教材作成者)

小学校算数 (6社)	東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、新興出版社啓林館、日本文教出版(大阪書籍)*
小学校理科 (6社)	東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、信濃教育会出版部、新興出版社啓林館
中学校数学 (6社)	東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、新興出版社啓林館、日本文教出版(大阪書籍)*
中学校理科 (5社)	東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、新興出版社啓林館

\* 制作途中で大阪書籍から日本文教出版に業務移譲されている

#### 4. 体裁等

現行の教科書のレイアウトに合わせたデザイン。

基本は単色刷。理科については、4ページ以内のカラーページ可。

移行措置で追加する内容で構成（発展的な内容は盛り込まない）。

平均的なページ数は以下のとおり。

（ページ）

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
小学校算数	16	24	28	56	33	39
小学校理科			24	18	18	22
中学校数学	40	-	-			
中学校理科	28	-	35			

小数点以下は四捨五入

#### 5. 補助教材の内容（例）

##### 【小学校】

新しい内容の例	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
算数	簡単な2けたのたし算・ひき算、時刻の読み方	簡単な3けたのたし算・ひき算、時間の単位	重さの単位(t)、二等辺三角形、正三角形、円、角	小数×整数、小数÷整数、立方体、直方体	ひし形・台形の面積、正多角形、図形の合同	縮図や拡大図、文字を用いた式(a, x)など
理科	-	-	風やゴムの働き	人の体のつくりと運動	水中の小さな生物	月と太陽

##### 【中学校】

新しい内容の例	1年生	2年生	3年生
数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>球の表面積(<math>S=4\pi r^2</math>)と体積(<math>V=\frac{4}{3}\pi r^3</math>)</li> <li>代表値などを用いた資料の傾向の説明</li> </ul>	-	-
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>力とばねの伸び</li> <li>PEやPETなどのプラスチックの性質</li> <li>シダ植物やコケ植物</li> </ul>	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>水溶液とイオン</li> <li>遺伝の規則性と遺伝子</li> <li>月の運動と見え方</li> </ul>

## 6. 配布物・配布部数

	補助教材本体（冊子）	補助教材の電子データ （CD-ROM）
都道府県教育委員会	全教科書発行者の補助 教材冊子 各20部	左記補助教材の CD-ROM 各1部
市区町村教育委員会 （指定都市含む）	採択教科書発行者の補 助教材冊子 10部	左記補助教材の CD-ROM 1部
都道府県私立学校担当部局	全教科書発行者の補助 教材冊子 各1部	
公立学校		[市町村教育委員会より配布] 採択教科書発行者の補助 教材の CD-ROM 1部 （又は CD-ROM からプ リントした印刷物）
国立学校、私立学校		採択教科書発行者の補助 教材の CD-ROM 1部
国公立学校の児童生徒・担 当教員（小学校：学級担任、中 学校：教科担任）	採択教科書発行者の補 助教材冊子 1部	

## 7. 配布時期・方法

補助教材本体（冊子）は教科書供給と同様、教科書取扱書店を通じて各学校に平成21年3月中に配布。なお、教材の内容を収録した CD-ROM については、3月上旬までに各教育委員会等に送付済み。

## 「心のノート」の改訂版の作成・配布について

### 1. 「心のノート」とは

「心のノート」については、道徳教育の充実を図る観点から、児童生徒が身に付ける道徳の内容を分かりやすく表し、道徳的価値について、自ら考えるきっかけとし、理解を深めていくことができるような児童生徒用の冊子として、平成13年度に文部科学省において作成し、すべての小・中学校の児童生徒に配布しているもの。

### 2. 「心のノート」改訂の経緯

本年4月からの小・中学校の新学習指導要領に基づく道徳教育の先行実施に向けて、「『心のノート』の改善に関する協力者会議」において検討を行い、新学習指導要領の趣旨を踏まえた「心のノート」の改訂版を作成し、本年3月に全国の小・中学校に配布。

### 3. 配布対象

全国の国公私立小・中学校等のうち、以下の学年の児童生徒並びに学級に各1部を配布。（全体で520万部）

- ・ 「こころのノート 小学校1・2学年」 →小学校第1学年
- ・ 「心のノート 小学校3・4学年」 →小学校第3学年
- ・ 「心のノート 小学校5・6学年」 →小学校第5学年
- ・ 「心のノート 中学校」 →中学校第1学年

## 「心のノート」の主な改訂内容

### 1 学習指導要領改訂における道徳の内容項目の改善を踏まえたもの

#### 【小学校】

(低学年)

「働くことのよさを感じて、みんなのために働く」(P76～79)

(中学年)

「自分の特徴に気付き、よい所を伸ばす」(P28～31)

#### 【中学校】

「多くの人々の善意や支えにより、日々の生活や現在の自分があることに感謝し、それにこたえる」(P64～67)

### 2 学習指導要領改訂における道徳の指導内容の学年段階毎の重点化を踏まえたもの

#### 【小学校】

(低学年)

あいさつなどの基本的な生活習慣(P30・31)、社会生活上のきまりを身に付け(P92・93)、善悪を判断し、人間としてしてはならないことをしないこと(P32・33)

(中学年)

集団や社会のきまりを守り(P96・97)、身近な人々と協力し助け合う態度を身に付けること(P52・53)

(高学年)

法やきまりの意義を理解すること(P112・113)、相手の立場を理解し、支え合う態度を身に付けること(P60・61)、集団における役割と責任を果たすこと、国家・社会の一員としての自覚をもつこと(P114・115)

#### 【中学校】

自他の生命を尊重し(P72～75)、規律ある生活ができ、自分の将来を考え(P16・17)、法やきまりの意義の理解を深め(P132・133)、主体的に社会の形成に参画し(P134・135)、国際社会に生きる日本人としての自覚を身に付けること(P136・137)。

### 3 「心のノート」を道徳の時間で活用しやすいようにするため、記述欄等の工夫を図ったもの。

#### 道徳の時間の記録ページの追加

- ・ 小学校：低学年(P96・97)、中学年(P104・105)、高学年(P122・123)
- ・ 中学校：P140・141

## 英語ノート 1・2 の作成・配布について

### 1. 目的

外国語活動については、平成 23 年度より、小学校第 5・第 6 学年において、週 1 コマ実施することとなっている。また、平成 21 年度からの移行期間においては、各学校の判断で、総合的な学習の時間を週 1 コマまで振り替え、先行して実施することができる。

外国語活動は、教科としては位置づけられておらず教科書が存在しないが、外国語活動の水準を確保するために、文部科学省が学習指導要領に沿って作成し配布する共通教材（補助教材）が「英語ノート」である。



### 2. 作成方法

平成 20 年 3 月、学識経験者、指導主事、教員等の意見を聞きつつ、「英語ノート（試作版）」を作成。平成 20 年 4 月より、全国約 600 の拠点校において、この試作版等を用いた授業を実施。拠点校からの指摘等を踏まえ、内容等の一部修正を行い、「英語ノート 1」「英語ノート 2」を作成。また、これら「英語ノート 1」「英語ノート 2」とあわせて、

各指導場面における歌や会話を収録している「英語ノート」付属の音声 CD やデジタル教材

各単元の目標や扱う表現、授業の流れ等を掲載している教師用指導資料も作成し、全国の小学校へ配布予定。

### 3. 配布対象学年

小学校第 5・6 学年



4. 「英語ノート」の内容(例)

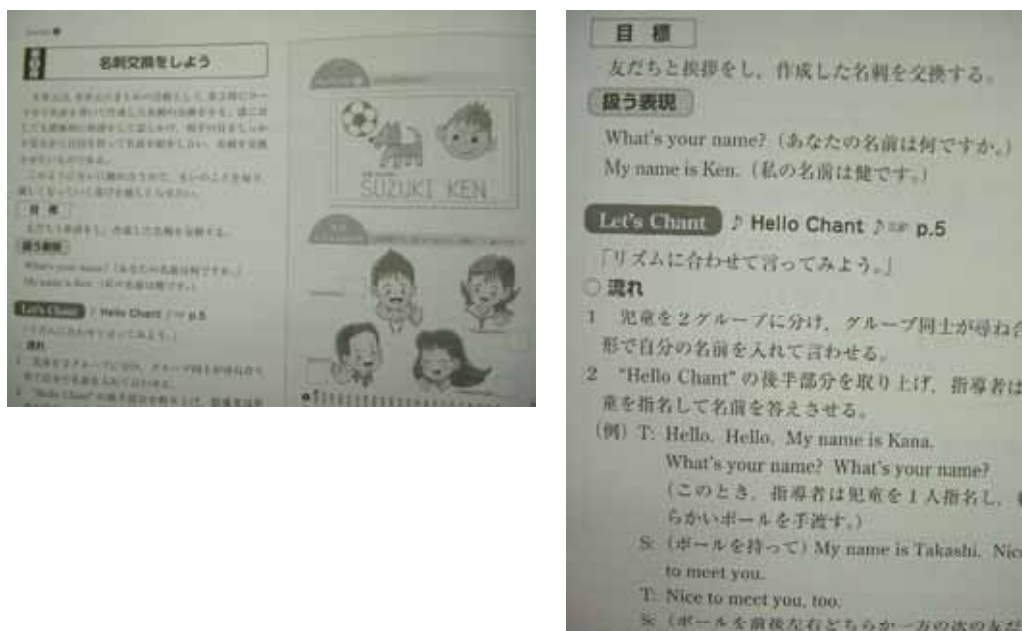
【「英語ノート1」の最初の活動】 世界の「こんにちは」を知ろう



【「英語ノート2」の最後の活動】 「将来の夢を紹介しよう」



【教師用指導資料】「英語ノート1」のレッスン3「名刺交換をしよう」



5. 配布物・配布部数

「英語ノート1」「英語ノート2」 小学校第5・第6学年の児童に1冊

音声CD 小学校第5・第6学年の学級に「英語ノート1」又は「英語ノート2」に係る音声CDを1枚

デジタル教材 全国の学校に「英語ノート1」及び「英語ノート2」に係るデジタル教材を1枚ずつ

教師用指導資料 小学校第5・第6学年の学級担任に「英語ノート1」又は「英語ノート2」に係る教師用指導資料を1冊

6. 配布時期・方法

平成21年3月中。

7. 配布方法

「心のノート」と同時に3月中に各学校に直接配布。